

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「GS エマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース」は、このたび、第7期の決算を行いました。本ファンドは、エマージング諸国の現地通貨建て債券への分散投資を通じて、相対的に高い金利収入と長期的な通貨価値の上昇を捉えることをめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第7期末(2021年6月22日)		第7期	
基準価額	9,537円	騰落率	1.23%
純資産総額	722百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。



交付運用報告書

# GS エマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース

追加型投信／海外／債券

第7期(決算日2021年6月22日)

作成対象期間: 2020年12月23日～2021年6月22日

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

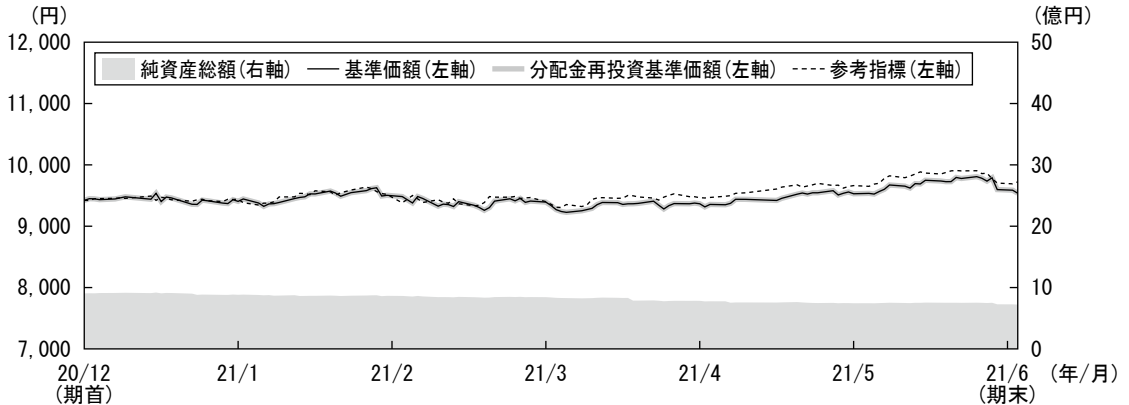
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー  
お問合せ先: 03-6437-6000(代表)  
受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について（2020年12月23日～2021年6月22日）



- (注1) 参考指標はJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

### ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の9,421円から116円上昇し、期末には9,537円となりました。

#### 上昇要因

エマージング通貨が対円で概ね上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

現地通貨建てエマージング債券市場 (現地通貨ベース) のトータル・リターンがマイナスであったことなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ <sup>*1</sup>	1.55%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド <sup>*2</sup>	6.72%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. – ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ IXシェアクラス
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ビーエルシー–ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド インスティテューショナル・アキュムレーション・シェアクラス

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2020年12月23日～2021年6月22日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	48円 (3)	0.510% (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(44)	(0.466)	
(受託会社)	(2)	(0.016)	
その他費用 (保管費用)	3 (0)	0.027 (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	(1)	(0.012)	
(その他)	(1)	(0.014)	
合計	51	0.537	

期中の平均基準価額は9,450円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

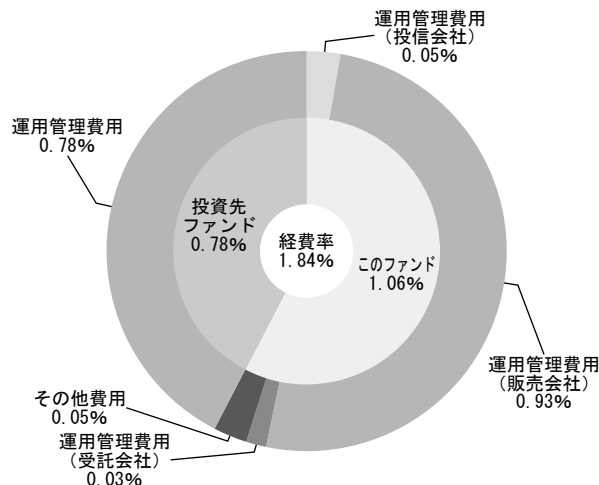
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

## 経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.84%です。



経費率(①+②)	1.84%
①このファンドの費用の比率	1.06%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

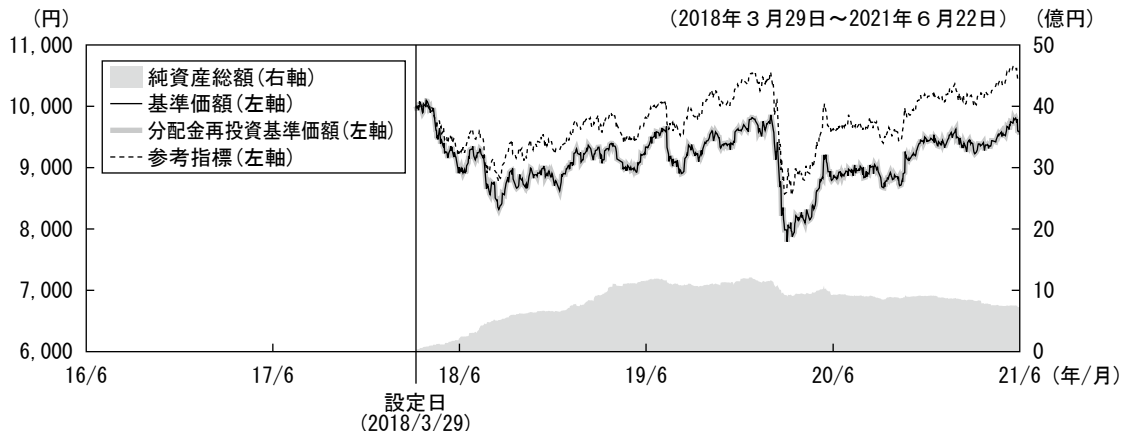
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日（2018年3月29日）の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/3/29	2018/6/22	2019/6/24	2020/6/22	2021/6/22
	設定日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額（分配落）（円）	10,000	8,909	9,336	8,821	9,537
期間分配金合計（税引前）（円）	—	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-10.91%	4.79%	-5.52%	8.12%
参考指標騰落率	—	-7.01%	5.41%	-1.73%	8.56%
純資産総額（百万円）	34	219	1,160	926	722

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## ■ 投資環境について

### <エマージング債券市場>

当期の現地通貨建てエマージング債券市場は下落しました。期の半ばにかけて、米金利が上昇したことや新型コロナウイルスのワクチン供給の遅れなどを背景に下落しました。期の後半は、米国株式市場の上昇や良好な中国の1-3月期実質GDP（国内総生産）成長率、米インフレ懸念がひとまず後退したことなどを背景に投資家のリスク選好度が高まった局面で上昇したものの、期末にはFOMC（米連邦公開市場委員会）が市場予想よりもタカ派（財政規律重視）寄りだったことなどから下落し、結局前期末を下回る水準で期を終えました。国別では、ペルーやチリなどの下落が目立った一方、ドミニカ共和国やウルグアイなどが上昇しました。

### <エマージング通貨市場>

当期中のエマージング通貨市場は、円に対して概ね上昇する結果となりました。通貨別では、ロシア・ルーブルやブラジル・レアルなどの対円での上昇が目立った一方、トルコ・リラやペルー・ソルなどが下落しました。ブラジル・レアルは、資源価格の上昇、追加利上げ観測などがプラス材料となりました。一方、トルコ・リラは、市場の信任が厚かった中央銀行総裁が解任され、金融政策をめぐる不透明感が強まったことなどが嫌気されました。

### <短期金融市場>

当期において、1ヵ月物米ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の0.14%程度から0.09%程度まで低下して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、当期を通じてゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオを概ね高位に組入れることによって、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### <ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ>

期首においては、イスラエルやペルー、メキシコの現地通貨建て債券のほか、タイ・バーツや台湾ドルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、マレーシアの現地通貨建て債券のほか、イスラエル・新シェケルやブラジル・レアルといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末においては、タイや中国の現地通貨建て債券のほか、ハンガリー・フォリントや台湾ドルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、ハンガリーやチリの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラや韓国ウォンといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。

上記のような運用の結果、当期のパフォーマンス（米ドルベース）は、ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）を下回りました。

当期は、メキシコやハンガリーなどの現地通貨建て債券のポジション、エジプト・ポンドなどの通貨ポジションがプラス寄与となりました。一方、南アフリカやロシアなどの現地通貨建て債券のポジション、トルコ・リラや台湾ドルなどの通貨ポジションがマイナス寄与となりました。

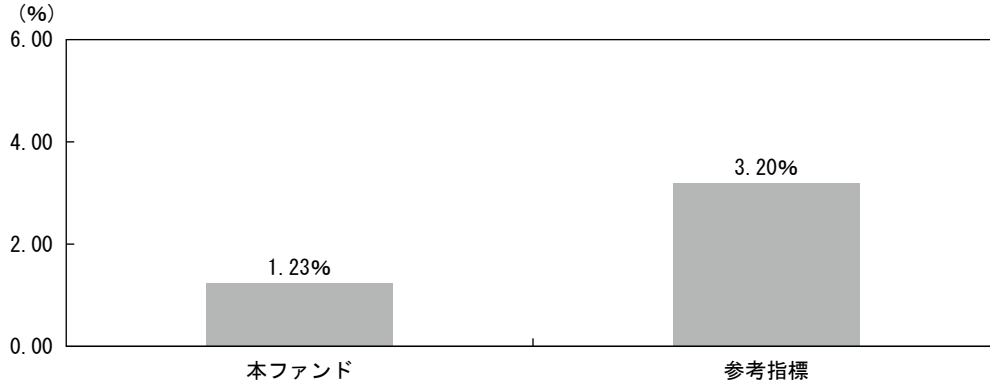
### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

### <当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は+1.23%となった一方、参考指標のパフォーマンスは+3.20%となりました。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項 目	第 7 期	
	2020年12月23日～2021年6月22日	
当期分配金	—	
（対基準価額比率）	—	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	4,003	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオの組入れを高位に保ち、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### <ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ>

現地通貨建てエマージング債券市場は、世界的に財政出動や緩和的な金融政策が実施されていることに加え、新型コロナウイルスのワクチン接種拡大などが支援材料になると考えます。米金利の上昇はエマージング資産からの資金流出を促す可能性があるものの、経常黒字が過去15年で最高水準となっていることなどから、対外的な脆弱性は低いと見ています。エマージング諸国の経済成長については、新型コロナウイルスの感染動向やワクチンの接種状況が各国で異なることから回復の度合いは国ごとにばらつきが生じると見ています。また、観光業に依存している国は、資源高や内需拡大の恩恵を受ける国よりも景気回復が遅れる可能性があると思込んでいます。引き続き新型コロナウイルスをめぐる不透明感などには注意が必要であるものの、ファンダメンタルズに鑑みて売られ過ぎ感の強い国が見受けられるなど、選択的な投資機会が創出されたと考えます。このような環境下では、各国のファンダメンタルズなどを精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。

当社では、エマージング通貨については、ハンガリー・フォリントや台湾ドルなどを強気に見る一方、トルコ・リラや韓国ウォンなどを弱気に見ています。ハンガリー・フォリントについては、中央銀行のタカ派的な姿勢や欧州経済の改善による恩恵を享受するとの見方などから、強気に見ています。トルコ・リラについては、金融政策をめぐる不透明感に加え、投資家心理が悪化した局面で下落圧力にさらされやすいことなどから弱気に見ています。現地通貨建て債券については、タイや中国などを強気に見る一方、ハンガリーやチリなどを弱気に見ています。タイについて、サービス業や労働市場が未だ軟調であることなどを背景に、中央銀行は当面政策金利を低水準で維持すると見込み、強気に見ています。一方、ハンガリーについては、経済の回復やコモディティ価格の上昇などを背景としたインフレ上昇懸念などを受けて、利上げが行われる可能性が高いとの見方から、弱気に見ています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

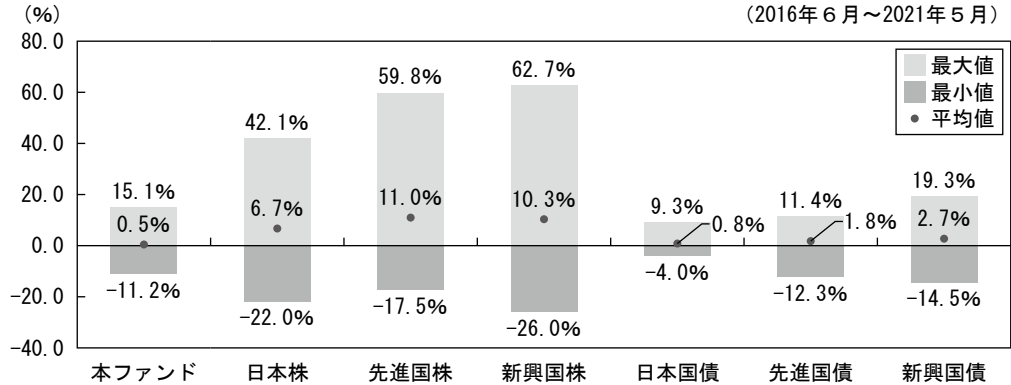
(上記見通しは2021年6月22日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2028年3月22日まで
運用方針	エマージング諸国の現地通貨建て債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルク籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V.            ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ</li> <li>・アイルランド籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー            ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド</li> </ul>
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年6月22日および12月22日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2016年6月から2021年5月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、設定日（2018年3月29日）から1年後の2019年3月以降のデータを表示しています。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

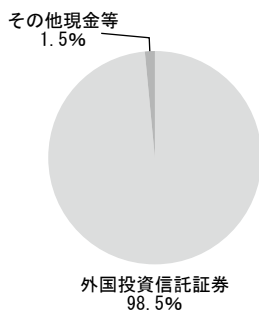
■ 本ファンドの組入資産の内容（2021年6月22日現在）

○ 組入れファンド

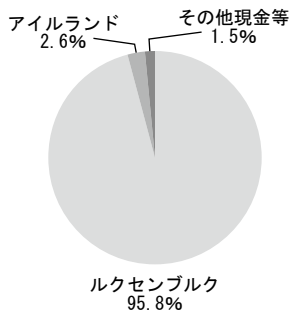
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	95.8%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.6%

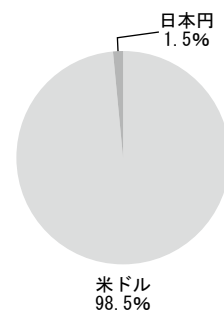
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第7期末
	2021年6月22日
純資産総額	722,371,844円
受益権総口数	757,423,583口
1万口当たり基準価額	9,537円

（注）期首元本額は959,943,936円、当作成期間中において、追加設定元本額は20,460,349円、同解約元本額は222,980,702円です。

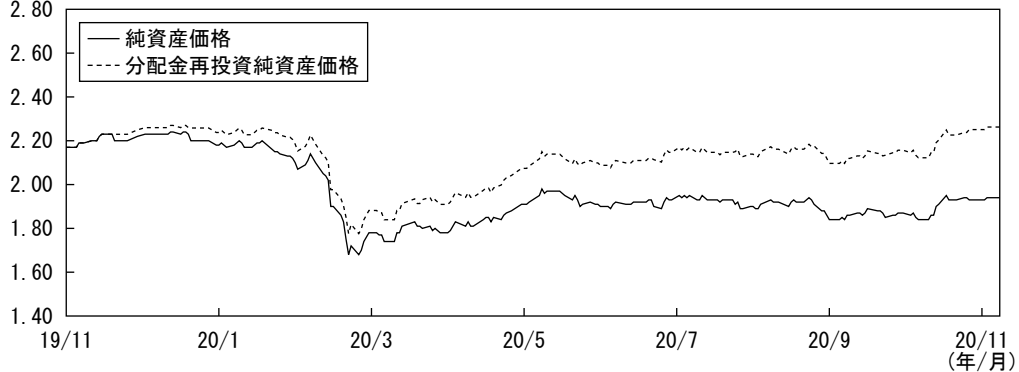
## ■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ> (2020年11月30日現在)

\*2021年6月22日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

### ○純資産価格等の推移について (2019年12月1日～2020年11月30日)

(米ドル)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2019年11月30日の純資産価格を起点として指数化しています。

### ○費用明細 (2020年11月30日に終了した期間) (単位：米ドル)

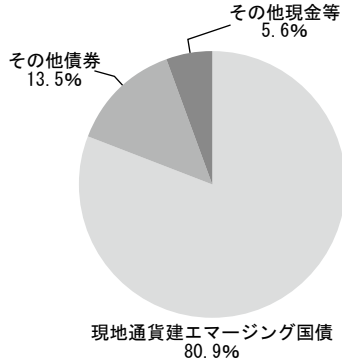
費用	
当座借越支払利息	4,642
投資顧問報酬	11,231,374
保管費用	583,510
管理事務代行報酬	308,275
販売報酬およびサービシング報酬	50,287
名義書換事務代行報酬	95,066
年次税	184,748
監査報酬	24,346
管理会社報酬	181,602
取締役報酬	13,313
弁護士報酬	30,472
保険費用	10,034
印刷費用	26,830
出版費用	8,632
税務報告報酬	22,223
支払代理人報酬	23,189
規制報告報酬	41,936
その他費用	126,936
	<hr/>
	12,967,415
費用合計	<hr/>
	12,967,415

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

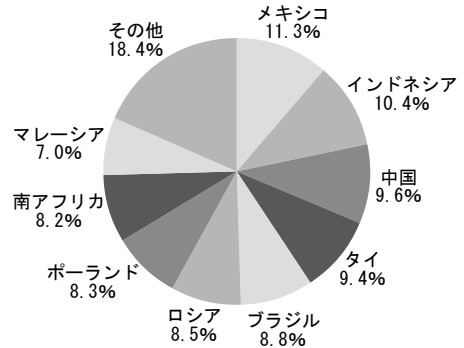
○債券特性値

最終利回り : 5.47%  
 デュレーション : 7.75年

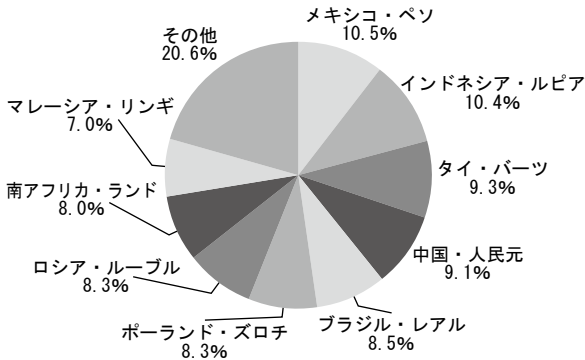
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：214銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	GS US\$ TREASURY LIQUID RESERVES FUND - X CLASS	その他	米ドル	4.3%
2	AGRICULTURAL DEVELOPMENT BANK OF 2.96% 17 APR 2030	準国債	中国・人民元	3.7%
3	POLISH GOVT 0.75% 25 APR 2025	国債	ポーランド・ズロチ	3.0%
4	SOUTH AFRICAN GOVT 10.5% 21 DEC 2026	国債	南アフリカ・ランド	2.5%
5	COLOMBIAN GOVT 7.5% 26 AUG 2026	国債	コロンビア・ペソ	2.5%
6	CHINESE GOVT 2.85% 04 JUN 2027	国債	中国・人民元	2.4%
7	STANDARD CHARTERED BANK-INDONESIAN GOVT 9% 20 MAR 2029 144A	国債	インドネシア・ルピア	2.3%
8	RUSSIAN GOVT 7.65% 10 APR 2030	国債	ロシア・ルーブル	2.2%
9	RUSSIAN GOVT 7.95% 07 OCT 2026	国債	ロシア・ルーブル	2.2%
10	MEXICAN GOVT 8.5% 31 MAY 2029	国債	メキシコ・ペソ	2.1%

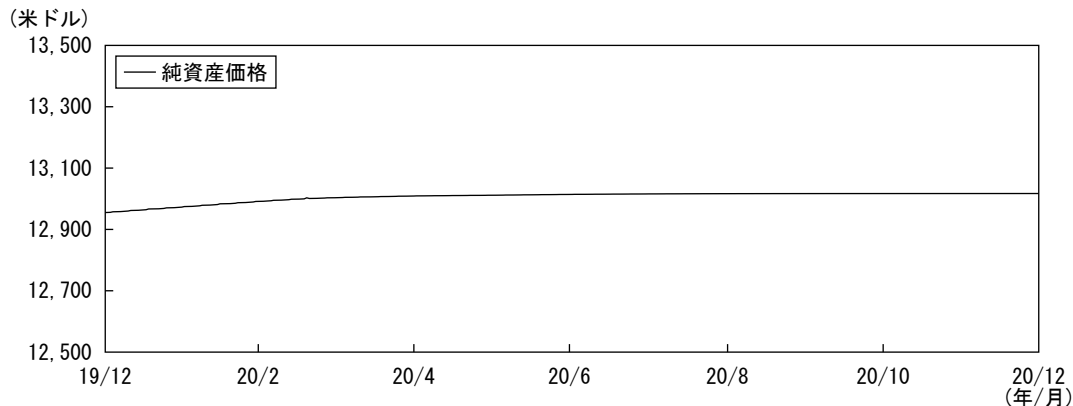
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

## &lt;ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド&gt; (2020年12月31日現在)

\*2021年6月22日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

## ○純資産価格等の推移について (2020年1月1日～2020年12月31日)

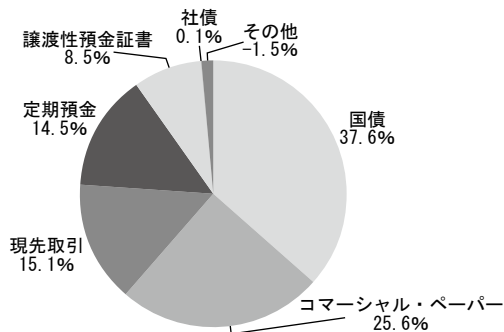


## ○費用明細 (2020年12月31日に終了した期間) (単位：米ドル)

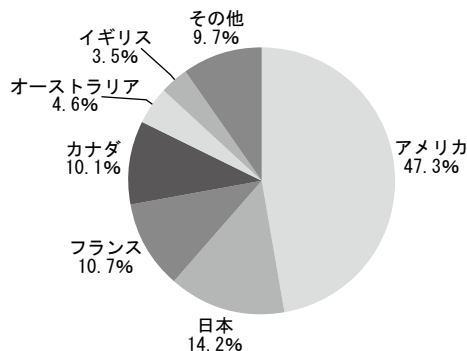
費用	
投資顧問報酬	80,252,686
管理会社報酬	4,339,697
管理事務代行報酬	1,407,921
保管費用	2,128,837
販売報酬	1,846,733
名義書換事務代行報酬	346,323
監査報酬	13,850
取締役報酬	11,919
弁護士報酬	33,201
保険費用	(313,560)
印刷費用	53,799
その他費用	1,637,025
費用合計	91,758,431
投資顧問報酬調整額	(22,140,431)
運用費用合計	69,618,000

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

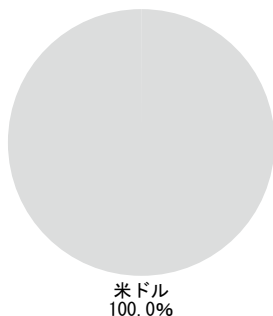
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：335銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	MUFG Securities (Canada) Ltd Repo 0.080% 2021/1/4	現先取引	米ドル	4.4%
2	United States Treasury Bill 0.107% 2021/5/13	国債	米ドル	3.6%
3	United States Cash Management Bill 0.102% 2021/4/6	国債	米ドル	3.5%
4	Australia & New Zealand Banking Group Ltd 0.090% 2021/1/4	定期預金	米ドル	3.3%
5	United States Treasury Bill 0.092% 2021/3/2	国債	米ドル	2.9%
6	Standard Chartered Bank Repo 0.070% 2021/1/4	現先取引	米ドル	2.7%
7	Societe Generale 0.250% 2021/1/4	定期預金	米ドル	2.7%
8	Societe Generale 0.250% 2021/1/5	定期預金	米ドル	2.7%
9	United States Cash Management Bill 0.105% 2021/4/13	国債	米ドル	2.7%
10	United States Cash Management Bill 0.103% 2021/3/23	国債	米ドル	2.4%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。